

原子力対策

特別委員会



図書館入口の「なみまる」「ふうちやん」車止め

令和7年12月17日に委員会を開催し、中部電力(株)浜岡原子力発電所1・2号機の廃止措置の状況を視察しました。

1 原子力館においての説明

(1) 廃止措置計画は約34年の年月をかけ第1段階～第4段階に分けて実施しています。現在は第3段階に入っています。国内初となる原子炉領域の解体を進めています。

(2) これまでの解体撤去物量としては2025年9月末時点です14800トンです。

(3) クリアランス物の再利用は発電所構内に加えて、今後様々な施設に広げて行なう予定です。



1号機原子炉圧力容器上蓋の解体の様子



解体現場を視察する議員

2 浜岡原子力発電所1・2号機の廃止措置の現場視察

1・2号機のタービン建屋及び1号機の原子炉圧力容器の上蓋をバンドソーで解体している様子も視察しました。

令和8年1月5日に公表された浜岡原子力発電所の新規制基準適合性審査における基準地震動策定に係る不適切事案について、御前崎市議会は令和8年1月9日に臨時中部電力(株)の姿勢に対し、厳しい意見が相次いだことから、議会運営委員会において説明内容への申し入れを協議し、令和8年1月15日に御前崎市議会議長及び原子力対策特別委員会委員長の連名で中部電力(株)に申し入れを行いました。

中部電力(株)に対する申し入れ

中部電力株式会社
代表取締役社長
社長執行役員 林 康吾 様

申し入れ書

浜岡原子力発電所の新規制基準適合性審査における基準地震動策定に係る不適切事案については、原子力発電所を受け入れ、貴社との深い信頼関係のもと共存共栄を図ってきた本市としては、誠に遺憾である。そこで貴社に対し下記事項を申し入れる。

記

- 現在、貴社から市民に対する説明責任が果たされていない状況である。貴社による市内地区単位での市民説明会を至急開催することを強く求める。
- 現在、浜岡原子力発電所には6,542体の使用済み核燃料が保管されており、原子力災害発生リスクは残されている状態である。使用済み核燃料の安全保持を含めた発電所の安全性について、至急対応策を実施するとともに、最大限の安全対策を講じることを強く求める。また、おむすり申し入れをしている発電所内での雇用の確保については、万全を期すよう強く求める。
- 原子力警報について、厳格な監督体制、迅速な指揮命令を行うため、貴社原子力部門の機能をすべて本市内へ設置することを強く求める。また、地域事務所については、発電所区域外へ移設し、市民からの意見などを迅速に聴取できる体制を整えることを強く求める。
- 原子力基本法に規定されている、「原子力事業者の責務」を遵守していただき、本市の地域課題の解決などに全面的に協力することを強く求める。

令和8年1月15日

御前崎市議会議長 濱美喜 様



御前崎市議会原子力対策特別委員会
委員長 河原崎恵士 様